

深へつにぎな 木次線。
RAIL is
BATON.

12/12はJR木次線 全線開通記念日

©たこばいそん／木次線応援プロジェクト

木次線まつり

2025 12.14 sun

雲南市木次経済文化会館

チェリヴァホール全館 10:00-15:00

鳥根県雲南市木次町里方55

入場 無料

※映画鑑賞は有料



※表紙は制作中のものです

10:15 木次線応援コミックス完成セレモニー

3F大会議室 完成版コミックス贈呈式、コミックス制作チーム登場！ 司会：ナーテル

13:00からの木次線シンポジウム内での
コミックスプレゼント抽選会に参加できる抽選券を配布

非売品コミックス
GETのチャンス！

JR木次線で
ご来場の方には
特典プレゼント！

JR木次駅から
徒歩1分

JR西日本
「WESTER」アプリで
時刻表も楽々確認！



宍道

南宍道

加茂中

幡屋

出雲大東

南大東

き

日登

下久野

出雲八代

出雲三成

亀嵩

出雲横田

八川

出雲坂根

三井野原

油木

備後落合

木次線シンポジウム

3階大会議室

基調講演 13:00-13:55

マンガでつなぐ地域の未来

木次線応援コミックスが生まれるまで

講師 江上英樹氏(漫画編集者)

1958年、神奈川県生まれ。元小学館漫画編集者。2000年に「週刊ビッグコミックススピリッツ増刊IKKI」を立ち上げ、編集長となる。幼少時代から鉄道趣味を持ち、担当する雑誌で『鉄子の旅』『月館の殺人』等の鉄道漫画を手がける。小学館を退社後合同会社「部活」を立ち上げ、代表となる。スイッチバックの魅力に惹かれ、2022年には「木次線・出雲坂根スイッチバックをなんとかするプロジェクト」を立ち上げ、スイッチバック風景の150分の1のジオラマを制作。2024年8月には、国内外の140ヶ所のスイッチバックを紹介した『スイッチバック大全』を出版。(鳥秀雄記念優秀著作賞受賞)。2024年12月に木次線応援コミックスの制作に向けクラウドファンディングを実施。目標額を大きく上回る支援が集まり、コミックスの制作に着手。

パネルディスカッション 14:00-14:45

コーディネーター 飯野公央氏(鳥根大学法文学部教授)

パネリスト 江上英樹氏(漫画編集者) 鳥根大学鉄道研究会 たこばいそん氏(漫画家) 他

※10:15からの木次線応援コミックス完成
セレモニー内で抽選券を配布します。



同時開催
コミックス
抽選会
△要抽選券



ロビーイベント もりだくさん

- ・おもちゃの列車展示
遊べるおもちゃの列車もあるよ！
- ・鉄道模型(Nゲージ)展示
- ・鉄道グッズ販売
- ・鉄道写真集販売
- ・缶バッジ製作
- ・子ども制服体験
- ・各団体のPRブース
- ・出雲坂根スイッチバック
ジオラマ運転会 など

※イベント内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。



JR木次線に乗って
映画を見に行こう！
2Fホール

銀河鉄道999

(1979年フィルム版)

松本零士の代表作の劇場版第1作。機械の体で不死を得る未来社会を舞台に、母を失った少年・鉄郎が謎の美女・メテルと銀河鉄道999号で宇宙を旅し、成長と別離、命の意味を問う叙情的な物語を紡ぐ。

上映 10:00 9:30開場 チケット 一般(前売)1,000円(当日)1,200円
(上映時間128分) 学生(18歳以下) (前売)500円(当日)700円



マルシェリーズで
同時開催！

きまぐれ
マルシェ

皆さんのご支援から生まれた木次線応援コミックス!!

2025年12月14日(日)(木次線まつり当日)
完成目指して鋭意執筆中!!

おろちコミックス

マンガ：たこばいそん
協力：ごとう隼平・松本勇祐

(※表紙は制作中のものです)

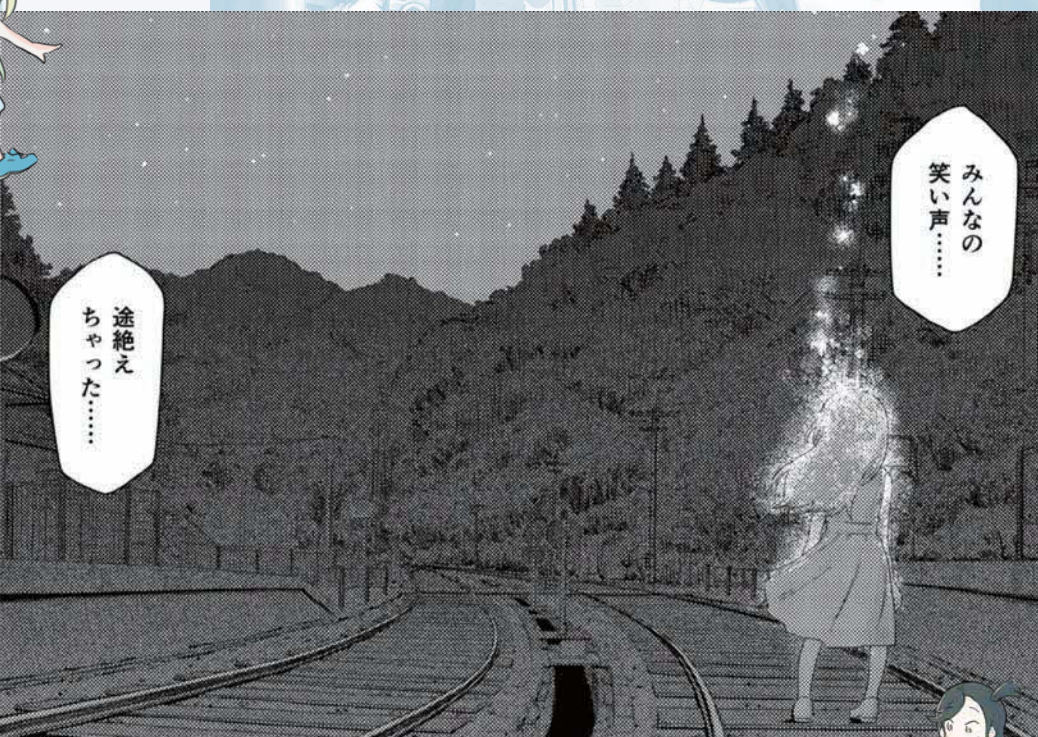


※このコミックスはクラウドファンディングの支援者向けのリターン品として作られますが、それ以外にも木次線沿線を中心に、広く読んでいただけるようにと考えております。
詳細は当日「木次線まつり会場」(木次駅前チェリヴァホール内)にて発表させていただきます。
乞うご期待ください!

さかねとつむぎとキスキ線

家庭の事情で都会から山深い奥出雲の地に引っ越してきた女子高校生つむぎ(紬)。仲の良い友人たちとも離れ、ポツンと暮らし始めたとき、感じる孤独と不安。「あたしはこれが好き!これがあたしの趣味だ!」と言えるものさえ持っていない自分に改めて気づき、愕然とする中、つむぎは自宅にほど近い山間の小駅「出雲坂根」で不思議な少女に出会う。「さかね」と名乗るその少女は、木次線、そして出雲坂根の魅力を、テツ分多めに(!)熱く語り始める。

果たして彼女は何者?
引っ込み思案のカメラ少女まこと(真)も加わって、3人で繰り広げる木次線体験。出雲坂根のスイッチバックをジグザグしながら少女たちの心は少しずつ……。神話と現実が交錯する、この奥出雲の地に多くの笑い声がこだまする日は、果たしてやってくるのであろうか?



途絶え
ちやった……

みんなの
笑い声……

©たこばいそん/木次線応援プロジェクト

あらすじ



南次道
茂中
幡屋
出雲大東
木次
下久野
出雲八代
出雲三成

備後落合